

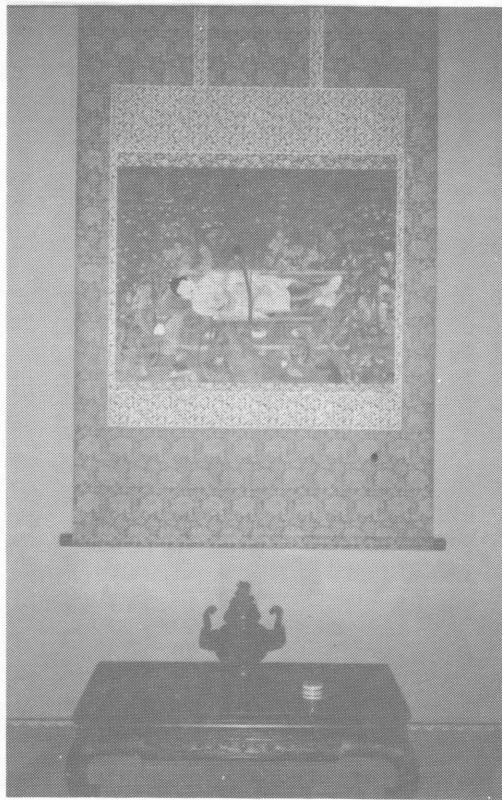
よりだ寺福廣

19号

書院にお釈迦さまの「涅槃図」

涅槃会当日 本堂で開眼法要勤まる

当寺書院の床の間（二間半）には中之口村東船越の浄源寺前住職から新築見舞として寄せられた文珠普賢両菩薩対幅の仏画が掛けられていましたが、掛け替えに適当な幅がなく困っておりましたとこ



ろ燕市の大谷統司氏から昨年十月仏画の御寄進（一金六拾万円）があり、本年の一月お釈迦さまの「涅槃図」（ねはんず）が届けられ書院に奉安されました。三月十五日恒例の涅槃会（ねはんえ）には本堂外陣に安置、ねはんだんごを供え、おひろめの開眼供養の法要を勤めました。御懇念まことにありがたく厚く御礼を申し上げます。この涅槃図は国立東京博物館所蔵の重要文化財で共同印刷（美術商品部複製）の特製絹本手彩色に成るものです。軸寸法193・6cm

×108cmの大幅で沙羅双樹に囲まれた宝台に頭北面西右脇に身を横たえられたお釈迦さまの周囲をとりまく諸菩薩・仏弟子・国王・大臣・天部・優婆塞・鬼神・畜類などの悲嘆にかきくれる姿と対照的に涅槃のさとり境に入られた寂滅・滅度の安らかな顔が描写されている。今後書院床の間にふさわしい寺宝として所蔵されることになりました。

当寺第五世坊守釈妙智が涅槃図の寄進を発願しそのころ寺に奉仕していた二人の尼がこの事業に随喜して補佐し奉加に回り、遂に巾七尺、丈二間の大幅で岩絵具を使った極彩色の涅槃図寄進の大業を成し遂げ以来毎年三月十五日の涅槃会には本堂の左余間に奉安されてきたが昭和十五年の大火で一旦は避難されながら惜しくも焼失してしまいました。

その後、麓の小林彦七家から涅槃図の御寄進があり毎年涅槃会には本堂余間に奉安して参りました。今後は両幅とも本堂に奉安して涅槃会を勤めることとなりますが、まことに御同慶にたえぬところであります。

正岡子規には「木のもとに臥せる仏をうち囲み象蛇どもの泣き居るところ」という写生の極致とされる歌があり、また斎藤茂吉には「死に給ふ母」と題する連作五十九首（歌集赤光所収）の中に「のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳根の母は死にたまふなり」の歌があり、いずれも涅槃図にちなんだ歌です。

いのちの教育を求めて

教区主催第5回仏教講演会ひらく

昨年十二月八日白根市のサルナートで開かれ約百七十名ほどの聴衆が詰めかけ尼崎市の小学校長綱沢昌永先生のお話に熱心に耳を傾けた。当寺から十六名の方々が参加されました。以下そのお話の骨子をお伝えします。

▽子供のしつけは三つでよい 森先生の教えます。「礼を正して場を清め時を守る」を日常の生活の中に持ち込めば、「ハイとお早ようと履物を揃える」の三つ。家庭はいのちの苗床であるといわれるが、教育の再建は家庭の再建しかない。三つ子の魂百までですから家庭がしっかりしているお宅の子供は本当に立派になります。

▽苦難が人間を育てる 人間形成というのは生まれつきの天性、先生・友だち、逆境の三つ。今一番欠けているのが苦難、人工的に苦難を与えることですね。朝パッと起きて仏さまにお参りする。また家の前を掃く。これ

は一つの行です。習慣が意志をつくる。しかし百日やらないとダメです。続けることで身につけていく。知らん間に子供の中に宝が育っていくのです。

▽口先だけでは教育にならぬ 口先で教育できると思ったら間違い。両親の毎日の生活その後の姿がそのまま子供の教育になるんです。子供の前で学校や先生の悪口は絶対言ってはなりません。

▽体験を通して学ぶ かわいい子には旅をさせると申します。他人のメシを食わすことで初めて親のありがたさがわかるんです。今はどこいっても甘すぎます。苦労させなければ。いろんな体験を経て成長するんです。汗を流すということが一番欠けています。便所掃除や靴磨きくらいさせて下さい。

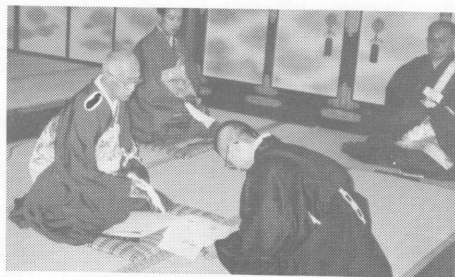
▽何気ない敬いから 朝ご飯を食べるとき「お年寄りに最初にわたしてそれから私にして、順番にしないさい」ということにしたんです。老人を大事にすることが習慣になって自然に身についてくるんです。主人が出かけるとき、小さい子供を玄関まで連れていき、お父さんが見えなくなるまで見送る。これがサツとできたら礼儀正しい子が育ちます。

▽無意識でしたことが ある中学の先生の作文に「昔の教え子の集まりに招かれ、思い出話を聞かされると、私が何気なくしたこと

強く子供たちの心の中に生きていることに驚かされるのです」とある。教育は意識的にこうしようと思ったら絶対ダメ。無意識でやっていることが子供の心のヒダに入っていくんです。子供たちに意外にも大きな影響を与えていることに気がつきたいものです。

決意新たに得度式を受式

当寺衆徒として女婿の安岡康一氏



当寺住職の女婿(長女彩子の主人) 安岡康一氏は三月二十七日本山仏光寺で得度式を受式、僧籍に入りご門主さまから度牒を授けられた。氏は東京工業大学大学院博士課程を修了後、東芝に入社し重電技術研究所に勤務、最近では眼に見えないレーザー光線の研究に従事しているとのことですが「これからは工学系の人間も宗教に根ざした社会観・人生観をもたずにはすまない時代がくると思います」と仏門に入ることので心機一転、仏法に心の拠りどころを求めながら研究を進めたいと決意を新たにしております。目下横浜市在住ですが今後ともよろしくお願いいたします。

春の本山差向御布教のお話の中から

地獄も極楽もこの世に

○大経に「たとえ私が仏となっても、私の国に地獄・餓鬼・畜生があるならば私は正覺を取りません」と。この三悪道はあの世のことではなく実はまさしく人間の現実世界です。私の母は糖尿病で眼も見えなくなりました。水をのむとながす。ながすとノドがかわいてまた水をのみたくなる。医者ほのますな、たべさすな。昼の間はがまんしても、真夜中になると激しいかわきにガマンしきれず、やせ衰えてとぼとぼと廊下を歩いてくる。その姿はまさしくこの世の餓鬼道、常に飢えと渴きに苦しまねばならぬ世界がこの餓鬼道です。



○念仏停止の法難で法然聖人が土佐に流される時、遊女が「私みたいな者でも救われるものでございましょうか」と。時に聖人が「あなた方こそ親・兄弟・わが子のためにわが身を売って苦界の泥沼の中に堪えて生きている。あなた方こそ泥沼に咲く華です。今の地獄の中で苦しみを拝み、みんなを泥沼から支えてみんなを幸せにするためにわが身は苦界の泥沼の中に生きている。この姿が極楽

のハスの華をあらわすのです」と。死んでからのことでない。今生きておるこの現実の中にハスの華咲く極楽の世界がある。ハスの華も泥沼のない所には咲かぬ。地獄も極楽もこの世にあるのです。正信偈に「すべての凡夫が阿弥陀如来の本願のいわれを聞いて信ずれば釈尊はかれらをたたえてすぐれた智慧者と呼び、『人びとの中の



ことしの年忌当たり年

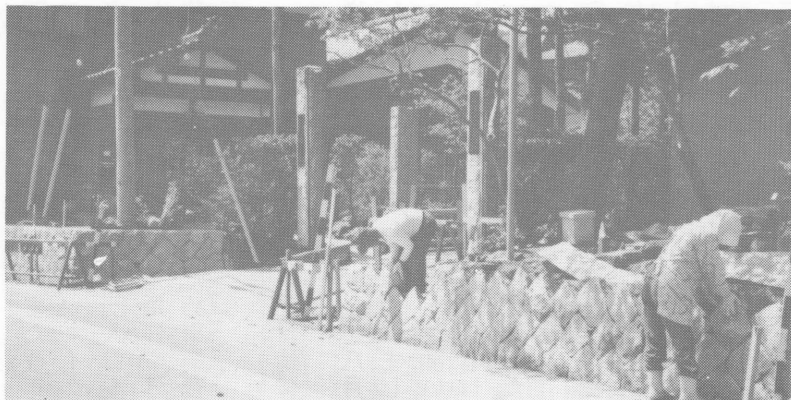
1	周	忌	平	成	3
3	回	忌	平	成	2
7	回	忌	昭	和	61
13	回	忌	昭	和	55
17	回	忌	昭	和	51
23	回	忌	昭	和	45
27	回	忌	昭	和	41
33	回	忌	昭	和	35
37	回	忌	昭	和	31
50	回	忌	昭	和	18
100	回	忌	明	治	26
150	回	忌	天	保	14
200	回	忌	寛	政	5

白蓮華』といわれた」とあるのもこのころをうたっているのです。(窪田文道師)

石垣工事すすむ

定例の総代会議で大門拡幅

石垣補修工事が進められることになりましたが、当寺世話方大谷統司氏から「この際一部補修でなく本格的な石垣工事を」と御寄進のお申し出があり四月から工事が進められてい



ます。北蒲安田町の加藤石材店が施工に当たり安田ミカゲの谷積みで上部に吟味した笠石を置く延長約46メートルに及ぶ大工事となります。杉の伐採から生け垣の移植、排水整地の付帯工事もあり五月中には完工の予定となりました。

I 平成3年度当寺勸金決算書

〔収入の部〕

科 目	決 算 額
勸 金	2,129,000
雑 収 入	41,651
繰 越 金	23,421
計	2,194,072

負担金の内訳

広福寺分 522,100

心光寺分 146,090

〔支出の部〕

科 目	決 算 額	摘 要
寺務経常費		
負 担 金	668,190	本山護持金・雲仙見舞金
事務通信費	89,201	複写・はがき・切手
会 議 費	82,250	世話方・総代会議
教 化 費	267,800	御布教・聞法会補助
営繕管理費	360,960	松くい虫倒木・火災共済
門徒交際費	132,090	寄進人謝礼・見舞・慰労
小 計	1,600,491	
事 業 費	427,699	輪灯加工・供筒塗箔ほか
繰 越 金	165,882	次年度へ繰越し
計	2,194,072	

II 平成3年度当寺勸金予算書

〔収入の部〕

科 目	予 算 額
勸 金	2,100,000
雑 収 入	30,000
繰 越 金	165,882
計	2,295,882

〔支出の部〕

科 目	予 算 額
寺務経常費	1,750,000
事 業 費	500,000
予 備 費	45,882
計	2,295,882

III 無縁供養塔改修工事決算書

〔収入の部〕

科 目	決 算 額
懇 志	1,113,000
繰 入 金	139,445
預 金 利 息	3,200
計	1,255,645

〔支出の部〕

科 目	決 算 額
基 礎 工 事	278,100
石 組 工 事	947,600
記 念 品	29,945
計	1,255,645

注 繰入金は広福寺基金から繰入れ

定例総代会議決議のお知らせ 去る二月九日の総代会議で別表ⅠⅡⅢの決算書、予算書の案がそれぞれ承認されましたのでお知らせ申し上げます。京都の御本山仏光寺と広福寺のおとりもちに寄せられました門徒各位の愛山護法の御懇念まことにありがたく厚く御礼を申し上げます。本年もよろしくお願いいた

します。昨年度は聞法会に拾万円の補助金が交付されました。営繕管理費で松くい虫や台風被害の倒木を処理しました。事業費で本堂の輪灯二対にセラミック加工を、また供筒六対に塗箔を施しました。今年度は寺務経常費の負担金に本山の光寿堂門徒中一般懇志として広福寺分式拾万、心光寺分五万、計式拾五

万円が計上されました。また近年葬儀の礼参や年忌法要で貸切りバスやマイクロバスで来寺されるケースが多く大門入口を拡幅してほしいとの御要望にこたえ電柱や外灯ポールの移転、石垣の補修等のため事業費として五拾万円が計上されました。

一戸当たり八千円の勸金

今年も 昨年同

様一戸当たり八千円の勸金を八月までに上納して頂くことが申し合わされました。世話方のおられない地区は住職がお願いに参上いたしますのでよろしくお願いを申し上げます。

供養塔懇志

に掲載後、次のとおり御懇志の上納があり、懇志上納総額は壹百壹拾壹万参千円となりました。上納いただきました有縁の方々には心から厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

一金参万円 心光寺住職 柏原善了、一金貳万円 東京 中村勝、一金壹万円 東京 大滝茂、一金参千円 麓二区 小林勘右衛門、栗生津、近山隆夫 以上(敬称略)

▼お墓参りの時にお願ひ▲ お供物をお供えされたままですとカラスや犬猫などに荒らされますのでお参りのあとはお持ち帰り下さい。お花立てに空ビンを利用されたままですと秋の突風で飛ばされ危険ですのでお持ち帰り下さるよう御協力をお願いいたします。